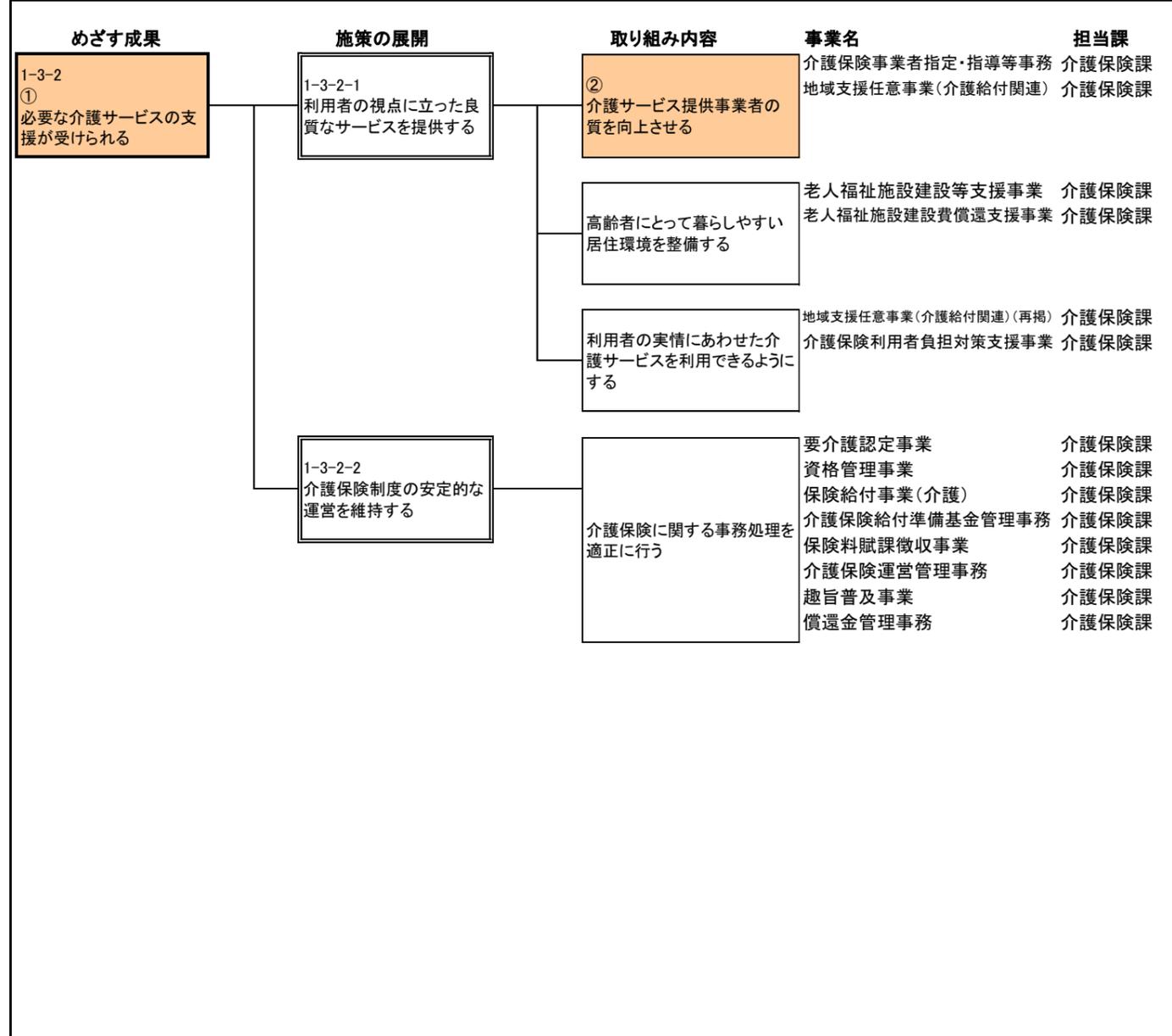


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1-3-2 必要な介護サービスの支援が受けられる		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	高齢者や障がい者への支援を充実する
	めざす成果	必要な介護サービスの支援が受けられる 加齢などにより身体機能の低下が生じた場合に、地域の中で安心した生活を送るための必要な介護サービスが利用できています。

所管部	健康福祉部
-----	-------

平成27年度までの取り組み内容	<p>【利用者の視点に立った良質なサービスを提供する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険の利用者が、介護保険事業所によるサービスに満足し、安心してサービスを利用することができるよう、市が指定する地域密着型サービス事業所等の実地指導を17件実施しました。
	<p>【介護保険制度の安定的な運営を維持する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の持続可能性を高めるために、実態調査や人口推計に基づく需要と供給の分析並びに今後の高齢社会の動向を見極めた第6期介護保険事業計画を平成26年度に策定し、以降、給付量の推移の把握等、進行管理に努めました。 高齢者数の増加による要介護認定申請件数の増加に対応するため、認定調査員の採用や研修を実施しました。また、介護認定審査会の合議体の適正な管理に努めました。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



構成事業に対する考え方(事業の量及び実施手法)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進展に伴う事業所数の増加や、平成28年度には新たな地域密着型サービスの創設により市指定の事業所数が増加していることなどから、利用者が安心してサービスを利用することができるよう指導体制の充実を図る必要があります。 被保険者数の増加及び制度改正に伴い、資格管理及び賦課徴収の事業量が増加していることから、保険管理体制の充実を図る必要があります。
-------------------------	---

今後の展開方針	注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	<ul style="list-style-type: none"> 介護従事者の身体的負担の軽減等を図るため、介護ロボットを導入する介護サービス事業者に導入経費の補助を行います。 	(該当する事務事業) ・介護ロボット導入支援事業
既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 事業所数や被保険者数の増加に対応するため、指導・管理体制を充実します。 	(該当する事務事業) ・介護保険事業者指定・指導等事務 ・保険料賦課徴収事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)

成果を計る主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時(H20)	最終目標値(H25)	実績値(H25)	実績値(H26)	実績値(H27)	中間目標値(H28)	最終目標値(H30)
①	介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合	35.9%	50.0%	46.8%			55.0%	65.0%
②	介護サービス利用者の満足度の割合	75.1%	80.0%	65.3%			65.0%	70.0%